

三
一六五
親至

● 東
● 通
● 四

● 通

● 通

補人◎

暗號

● 東
● 通
● 四

● 東
● 通
● 四

● 東
● 通
● 四

● 東
● 通
● 四

● 東
● 通
● 四

● 東
● 通
● 四

● 東
● 通
● 四

● 東
● 通
● 四

● 東
● 通
● 四

第十信

第十卷

- (一) 海軍一五(五) 無章七(一) 二九(一) 軍醫兵曹四
- (二) 工務科三(一) 金上二(〇) 木上二(一)
- (三) 看護科二三(九) 看二(一) 九(無章二(〇))
- (四) 主計科五八(一三) 醫三(二) 藥二(二) 無章五三(九)(吳
章) 二一六(五)
- (五) 水兵科一九三(三七) 船二(一) 一(一) 測九(四) 無章一六三(二二)
- (六) 機關科一二(四) 肉火六(〇) 無章六(四)
- (七) 看護科五(二)
- (八) 主計科無章七(三) (佐藤) 六四(四六)
- (九) 水兵科七三(三五) 醫三(一) 一六(測五) 三(備二) 二(電信
八(三) 實測七(五) 無章五(六))
- (十) 機關科八(五) 肉火二(〇) 大砲要員四(四) 無章二(一)

海軍

(一) 正持將五 (四) 金五二 (二) 次五三 (二) (一)
 (二) 主計將三 (二) 軍二 (一) 軍一 (一) (一) 軍一 (三四) (一一)
 (三) 水兵科三三 (一一) 船六 (四) 信二 (二) 軍信三 (二) 船一
 五 (一) 無軍一七 (二) (一)
 (四) 看護科將一 (一) (一) 附士曹七 護衛士曹四 神法三 厨下士官四 一九
 兵一三五〇 合計一七二四。
 (一) 東海 陸 水軍 陸軍 又 陸軍 陸軍
 (一) 東海 陸 水軍 陸軍 又 陸軍 陸軍

人



三 一五

作戰緊急

受信一三二五
始信三四八

譯丁一四三〇 電〇六五七六 作 概〇

局長		
一課長		
A		
B		
E		
J		
F		

● 大本營海軍部
支那方面艦隊中。第一航空艦隊中。第三航空艦隊
第五航空艦隊。第十航空艦隊。各鎮。各營。各口
海上護衛線口

機密第一五二一四六番電

✓ 聯合艦隊電令作第五五八號

通信謀報ニ依レバ敵機動部隊 P U ヲ出發セル等アリ 明十六日 P

U 飛行偵察ニ依リ在否確認セヨ。

河本四五〇 日ハ A 女五 () G F 七 篠野 (土) 谷 ()

三一五 受信一六三五 譯了二一一〇 電〇〇六七四五
尋始二〇〇〇 符 航作
力本〇

千島根

東 通

機密第一五一二〇五番電二分ノ三

發 第十二航空艦隊參謀長

通報 軍司令部第一部長・戦力補給部長・電務局長

航空本部總務部長

貴機密第一一六五八番電

一、戰訓ニ基キ千島方面防備變更ニ關シテハ先般貴隊兵力移動ノ際
當司令部ニ於テ嚮下打合ヲ濟シ（當司令部ノ方針ハ貴機密第一項
ノ通）

今後ノ防備ノ重點ニ關シテハ聯合艦隊作戰方針或ニ千島方面防
備現狀ニ鑑ミ天等ヲ第一幌羅海峽方面ヲ第二其ノ他ヲ第三トシ

通七四九九・七五四〇 日二アラ十八（B）大湊

主要兵器ノ島外ヘノ移動ハ特ニ之ヲ行ハズ天竺方面ニ對スル不足ニ關シテハ中央ニ對シ促進ニ努ムルコトトス尙第五三營備隊ハ一時兵力部異變更ニ依リ大湊警備府部隊ニ編入後方トノ連絡ヲ密ニ防備促進ヲ計ラルル意向ナリ

三、資材ノ補給ニ關シテハ築城ヲ優先トシ航空基地整備ハ之ヲ最小限ニ止メハ第一占守及天竺ノ補修整備ニ且本資材ノ輸送ハ糧食需品等ニ對シ優先ノコトトス

四、資材補給ニ量ヲ極力増大スル爲今後進出スベキ築城關係員及揚搭作業員ハ極限セシメラルルニ付之ガ不足ハ自分ノ努力ニ依リ補フコトトセラレ度本方針ニ基ク築城資材補給量豫定ニ關シテハ至急連絡ノコトトス。

三
一五 受信二〇二七 譯了二三二八 電自〇七三四四 作概〇
譯始二二〇〇〇

三一通第五分遣隊

◎ 大海參一部・聯合艦隊

機密第一五一三〇八番電 七分ノ一三四五

發 南西方面艦隊參謀長

最近ニ於ケル呂宋綜合戰況竝ニ情況判斷左ノ通

一 敵兵力配備「バギオ」山麓二個師團及其ノ他「サラクサタ」峠西方約

一個師團「バレチ」峠南方三個師團以上トスタライク方面一乃至二個

師團マニラ東方三個師團以上敵ノ主攻方面ハ「バレテ」峠及マニラ東

方ニ向ケラレテルモノヲ如シ敵ニハ多數ノ土匪軍協力中

七分ノ三

七九八 七六一六
七六六 七六九

三A(10265C) 3FGBV

三、「バギオ」方面茲數日前ヨリ戰況頓ニ活潑化「リメゴ」方面ニ敵兵力
 増強シアリ同方面ヨサ「バギオ」市周邊ニ砲撃開始「アンバヤン」河
 ヲ前進スル敵ハ「バギオ」ノ補給路タル「アリタオ」道ヲ遮斷ノ虞ア
 リ「サンフェルナンド」方面匪勢盛トナリ同地ノ我守備隊ハ「ナギリ
 アン」以東ニ撤退中「バギオ」北方地區匪賊ハ敵機ノ補給ヲ受ケ其ノ
 行動活潑化セリ

四、「バレテ」峠方面驚クベキ道路構築能力ト匪賊ノ協力ニ依リ敵ハ同方
 面ノ山嶺ヲ容易ニ滲透我ガ陣地ヲ迂回「バレテ」峠ニ迫リツツアリ一
 度同時ヲ突破サレンカ「バヨンボ」方面ハ我ガ兵力ト地勢ノ關係上一
 舉ニ敵手ニ陥ル畏レアリ

五、マニラ東方據點及「クラーク」複廊陣地ニ對スル敵ノ攻撃ハ依然猛烈
 ニシテ逐次陣地ヲ壓縮セラレ我兵力モ相當消耗シア未ダ期待セル反撃
 ノ機ヲ得ヌマニラ東方海軍防衛部隊ノ大部ハ目下「インフアンタ」方

三、面ニ移動中

六、「カガヤン」河谷地帯ハ現在匪勢左程大ナラズ表面比較的平靜ナルモ

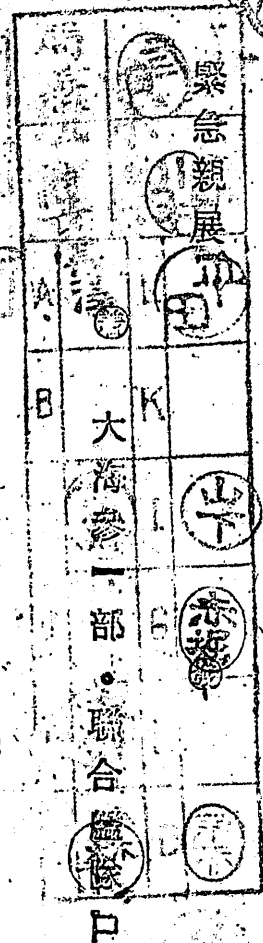
(二)

我兵力極メテ拙劣ニシテ地形平低ナル爲「アバリ」方面ニ對スル敵ノ
 上陸空挺作戰等ニ對スル防備容易ナラズ
 セ「サンフェルナンド」以北西海岸山嶽地帯未ダ米軍部隊ヘノ援助ヲ要
 スベシ匪勢特ニ強大ニシテ我ガ守備隊遂ニ逐次山間陣地ニ撤退中
 ハ之ヲ要スルニ敵ハ尙モ攻撃ノ手ヲ緩ムルコトナク上陸兵團ノ大部分ハ
 作戰ニシテ茲當分ハ現作戰ヲ強行スル算大ナリ我ガ地上部隊戦力低
 下豫想外ニ大ニシテ戦局一般ニ樂觀ヲ許サズ。

（電信課註 本電七分ノ三六七未着）

（三）

三
一五 受信一七〇〇 譯了二〇〇〇 電〇七四〇〇 作概



機密第一五三一三〇八番電 七分ノ二

發 G K F 參謀長

ニ我兵力配備バギ山麓旭及盟計十個大隊（但シ一個大隊約三〇〇名）「アンバヤン」川谷約一個聯隊「サラタサタ」峠嶽兵團二個大隊「パレテ」峠鐵兵團三個大隊「バヨンプン」方面陸軍二個大隊（航空部隊ヨリ、改編ノ約三千名）海軍三個中隊「ボンドック」附近虎兵團六個大隊「エチアゲ」附近勤兵團五個大隊「ラロ」（「アバリ南方」駿兵團主力三個大隊半基幹トスル外一個大隊「ヒガン」東方山地ト一部二個大隊半及海軍六五九名其ノ他略）

（通信員註 本電七分ノ二三四五既配布六七未着）（東通註 本電誤字多ク翻譯困難）

通信員註 本電七分ノ二三四五既配布六七未着

三ノ一六 受信〇〇四一 譯了七〇三〇 電一〇〇〇〇 作概〇

三一通五分遣隊

大海參一部・聯合艦隊口

機密第一五一三〇八番電 七分ノ六七

發 南西方面艦隊參謀長

九、尙武集團ノ處置

- (イ) 「バヨンボン」方面ニ在ル航空部隊ヲダバオ航空基地ニアルモ「パレテ」峠方面ノ増勢
- (ロ) 軍教育組ヨリ豫備隊ノ第一線注入
- (ハ) 海軍部隊指揮官ヲ以テスル飛行場カガヤン河方面防備「バラナ」一灣方面基地ノ設定
- (ニ) ヨリスル共和岳へ達スル糧秣輸送

七六七六七八〇四 月二ムラ十八(一〇二六五)五

(ホ) 艦隊司令部ヲ「パヨンボン」東北約四〇軒ノ山險内ニ移サント
ケル内意ナリ

十、海軍ドシテ差當リ執リツツアル處置

(イ) 「パヨンボン」海軍防衛部隊ハ「ソラノ」方山地ニ複廓陣地
ヲ構築之ニ據ラシム（近衛正集團長ノトラルル豫定）

(ロ) 「インフアンタ」ニ 現下海軍兵力マニラ東方據點ニ對

スル海上「リ」ノ補給港ヲ整備

(ハ) 「ボンドツク」通信基地ノ整備

(ニ) 「バギオ」所在海軍兵力 小規模「主トシテ糧食

ノ關係」

「電信課註 本電七分ノ一、三、四、五、既配布七分ノ二、未着」
「東通註 本電誤字多シ再送要求中」



親展

一六 受信開始 〇〇二二三〇〇 譯了 〇三四〇 電 〇六八一七 航本 概 〇

第五航空艦隊 〇 大海參一部・第四艦隊 〇・七六二空

機密第一五二三一一番電

發 G.P. 參謀長

左ニ依リ貴艦隊所屬ノ彩雲及同搭乗員ヲ P.T.ニ派遣シ N.B 指揮官ノ指揮ヲ受ケ P.U. G.P.B 等敵要地ノ緊急偵察ヲ實施セシメラル豫定ナルニ付速ニ準備セシメ置カレ 彩雲五機 (A組搭乗員) 速ニ N.M.K 經由 P.T.ニ空輸 〇 B組搭乗員一組三月末(期日後令ス) 第一百一航空隊隊附空便ニテ N.B.B 發 P.T. 行。

通七八二六 呂 A (B) G.F.P



三一七 受信開始 〇七五〇 譯了 〇八一 電 〇七三〇三 航作概本〇

・作戰緊急親展

● 總無線艦所用共通符號

● 聯合艦隊 口

● 第五航空艦隊 口 第一航空艦隊 口 第三航空艦隊 口

機密第一七〇五二五番電

發 第四艦隊參謀長

昨日來天候不良ノ爲 P U 偵察ヲ明十八日ニ延期。

通八四三四 呂一A (八九九五 KC) 四週放

作戰緊急親展

三一七 受信一五〇五 譯始一五五五 譯了一六一〇 電〇七四九九 作 概



第一航空艦隊

大支那方面艦隊。海上護衛總司令部。聯合艦隊各

機密第一七一二〇七番電

✓ 聯合艦隊電令作第五六二號

五 F G B 指揮官ハ「レイテ」灣飛行偵察ヲ繼續的ニ實施シ敵攻
船團準備狀況ヲ偵知セシムベシ。

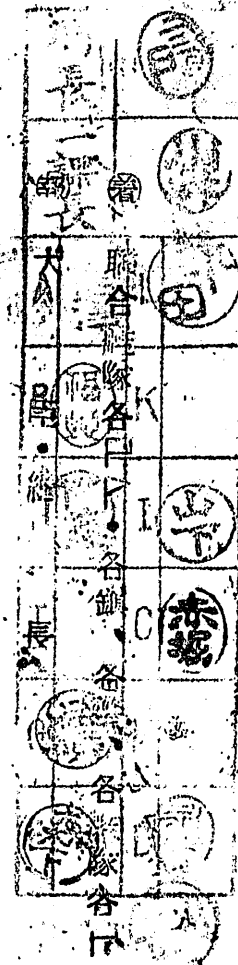
通八五八五 呂二Aケ五 (B) (G F D)



三一七 受信二二三二六 譯始二三三〇六 譯了〇二三〇

電自〇七七二六 電至〇七七三二

作機〇



機密第一一八二三番電七分ノ二二三四再六七

G 電令作給五六四 A 號

一、諸情報ヲ綜合スルニ敵ハ近ク南西諸島方面ニ上陸企圖シアル算大ナリ

二、敵攻隊部隊南西諸島方面ニ來攻セバ陸軍部隊ト緊密ニ共同シG F

三、G F 作戰要領

(1) 航空作戦

- 八八三二
- 八八三九
- 八八四〇
- 八八四一
- 八八四二
- 八八四三
- 八八四四
- 八八四五
- 八八四六
- 八八四七
- 八八四八
- 八八四九
- 八八五〇
- 八八五一
- 八八五二
- 八八五三
- 八八五四
- 八八五五
- 八八五六
- 八八五七
- 八八五八
- 八八五九
- 八八六〇
- 八八六一
- 八八六二
- 八八六三
- 八八六四
- 八八六五
- 八八六六
- 八八六七
- 八八六八
- 八八六九
- 八八七〇
- 八八七一
- 八八七二
- 八八七三
- 八八七四
- 八八七五
- 八八七六
- 八八七七
- 八八七八
- 八八七九
- 八八八〇
- 八八八一
- 八八八二
- 八八八三
- 八八八四
- 八八八五
- 八八八六
- 八八八七
- 八八八八
- 八八八九
- 八八九〇
- 八八九一
- 八八九二
- 八八九三
- 八八九四
- 八八九五
- 八八九六
- 八八九七
- 八八九八
- 八八九九
- 八九〇〇

口二Aケ五(b)g y r

- (一) K F G B ノ主力ヲ九州方面ニ展開シ主トシテ敵機動部隊ヲ捕
捉撃滅ス
- (二) 五 F G B ハ臺灣ニ展開シ主トシテ敵攻略部隊ニ隨伴スル空母群ヲ
捕捉撃滅ス
- (三) 第六航空艦ハ概ネ沖繩本島(含ム)以北ノ南西諸島及九州方面ニ
展開シ主トシテ敵輸送船團ヲ捕捉撃滅ス尙成シ得ル限り一部ヲ以
テ敵空母群撃滅ニ協力ス(第三項發令時ヲ三月二十日零時トス)
- (四) 七 F G B 八 F G B ハ可動全力(實用機)ノ本土西方進ヲ準備ス
右進ハ本艦之ヲ特令シ進後ハ台ヲクレテ一 F G B 指揮官作
戰指揮下ニ入ル
- (五) G B 指揮官指揮下ノ(作戰指揮ヲ含ム)航空兵力ハ本土西方軍
中進備シツツ原任ヲ續行シ令ニ依リ所定兵力ヲ一 F G B 指揮
官ノ作戰指揮下ニ入レ作戰セシム
- (六) 哨戒ハ特令スルモノノ外各指揮官所定トス

(四) 潜水艦作戦

(一) E B ノ大部ハ艦力出撃準備ヲ促進シ令ニ依リ九州南東海面ニ出撃シ主トシテ敵 K D B ナヲ捕獲滅ス

(二) E B ノ一部ハ回天搭載可能ノモノハ回天ノ搭載出撃準備ヲ促進シ令ニ依リ南西諸島近海ニ出撃伏撃シ敵攻略部隊ヲ攻滅ス

(五) 局地守備部隊ノ作戦

(一) 航空基地ヲ整備シ航空兵力ノ進出ニ備フ

(二) 敵來攻セバ海上奪取兵力ヲ以テ敵攻略部隊ヲ水際前ニ於テ撃滅ス

(三) 敵艦隊ニ協力シテ敵ヲ撃滅シ飛行場港灣等ノ要域ヲ確保ス

(六) 海上部隊ノ作戦

(一) Y B ハ警戒ヲ嚴ニシ内海西部方面ニ在リテ待機シ待命ニ依リ出撃準備ヲ完成ス

(二) 航空作戦有利ナル時合一 Y B ハ待命ニ依リ出撃シ敵攻略部隊ヲ撃滅ス

票本作戦ヲ天一號作戦ト呼稱シ之ガ善戒成ニ發勳要領ハ捷勝作戦ニ
準ジ本職之ヲ下令ス。

三
一七
親展
受信一九二七
譯始二〇一五
譯了二一四四
電〇七六二三
作
概〇

先遣部隊

大本營海軍部・聯合艦隊各口・各鎮各警

機密第一七一八三九番電

✓ 聯合艦隊電令作第五六五號

先遣部隊指揮官ハEBBノ大部ヲシテ速ニ九州南東海面（距岸二五〇浬附近）ニ進出セシメ敵機動部隊ヲ捕捉撃滅スベシ。

通八七三〇
呂二A（B）（G）（F）



作戰緊急

三一八 受信開始 〇八〇〇 〇八三五 譯了 〇九〇〇 電〇七八七四 作機〇

聯合艦隊中

總無線艦所用共通符號

第三、五各航空艦隊

機密第一八〇六四八番電

發 第四艦隊參謀長

天候未ダ回復セズP.U. P.B.ノ偵察ヲ明十九日ニ延期ス。

通九〇三七 呂一Aヲ十八(五一三三五)四通



三 一八 受 始 信 一五四八 一六三〇 了 一七三〇 電 〇八一八〇

作 政 部

緊 急

無線電所用共通符號

第一潜水部隊

吳 鎮

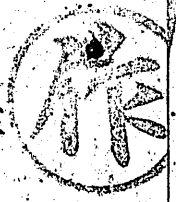
機密第一八一三一號

先遣部隊命令第二〇號

達泊中ノ潜水艦ハ吳ニ歸投整備ニ從專スベシ。

九二七三 呂一八ヶ五 (五二九五) 六甲放

1357



三 二〇 受信一八一五 譯了二〇三〇 電〇九三〇五
 譯始一八五〇 聯合艦隊 戰航作 力本艦〇

● 第一〇一航空戰隊
 ● 聯合艦隊

● 第一〇一航空戰隊
 ● 第四、第八各艦隊、南京方面艦隊

機密第二〇一五〇九番電

通 大 海 參 一 部 長 航 空 本 部 總 務 部 長

大 海 戰 力 補 給 部 長

✓ 聯 合 艦 隊 電 令 作 第 五 六 九 號

副 長	部 長	部 長	部 長	部 長	部 長	部 長	部 長
軍 務 局 長	部 長	部 長	部 長	部 長	部 長	部 長	部 長

第一挺身航空部隊指揮官ハ晴望各一機ヲ以テ本月月明ノ間好機ニ投シ
 (トラツク)及「ブイン」(状況極メテ困難ナル場合ハ「ラポール」
 向ケ緊急軍需品ノ挺進輸送(各一往復)ヲ實施スベシ 南京方面部隊
 指揮官及内南洋部隊指揮官ハ夫々「ブイン」(又ハ「ラポール」(トラツ
 ク)ニ於ケル右機送機ノ發着ニシテ區處スベシ。
 通一〇五三二 呂二A (B) (G F)



三
二二

受信開始 〇八六一〇〇
譯了 〇九四五
電自 〇九四五
電至 〇九四四
航作 〇
概 〇

局長	第一課長	第二課長	第三課長	第四課長	第五課長	第六課長	第七課長	第八課長	第九課長	第十課長	第十一課長	第十二課長
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

第十一聯合航空隊

第一機動基地航空部隊

第五航空艦隊口。宇佐、姫路、詫間、大村、元山、福山、天草、大津各空

機密第二〇二三四二番電 三分、六三三

發 第十AF參謀長

第一號作戰準備ニ關シ左ノ通發令サレルル如ク内示アリタリ 關係各部

ト以テ連絡アリ度

要旨

一 諸狀況ヲ綜合スルニ敵ノ南西諸島ニ對スル攻略ハ此處旬日ニ其ノ算

第一〇八五三、一〇八六一 呂一A(五) B (覆空)

アリ

三、各航空部隊ハ左ニ依リ「天一」號作戦準備ヲ完成スベシ

(1) 第八基地航空部隊指揮官ハ指揮下作戦可能全方ハ實用機ハナシテ
鈴鹿山脈以東所在ノモノハ第八基地航空部隊指揮官ノ向山脈以西
所在ノモノハ第一機動基地航空部隊指揮官ノ作戦指揮ヲ承ケシム
ベシ

(2) 第一機動基地航空部隊指揮官ハ第八基地航空部隊ヨリ編入ノ兵力
ト現指揮下兵力トヲ併セ速ニ戦力ヲ整頓スベシ

(3) 七FGB指揮官ハ八FGBヨリ編入ノ兵力ト現指揮下作戦可動兵
力トヲ併セ整頓シ速ニ西方轉進ヲ準備スベシ 七FGB指揮官ハ
「天一」號作戦警戒ノ令ニ依リ右兵力ヲ率テ第一機動基地航空部
部隊指揮官ノ指揮下ニ入ルベシ(以下略)。

三二一 受信 〇〇七五四五 了 〇八一五 電自 〇〇九五一一八六 航作 本區 〇

● 鹿屋航空基地

● 第一機動基地航空部隊作戰命令着信處所・一二聯空

機密第二一〇二三五番電 三分ノ一、二三

一 K F G B 信電令作第一四四號

一 三月二十日附本職ノ指揮ニ入レル一 F G B 兵力ノ兵力部署ヲ左ノ通

一定ム(區分指揮官兵力任務ノ順)

(イ) 第十二聯空部隊一 F G B 指揮官所定十二聯合航空隊麾下實用機可

動奎力敵機動部隊及攻略部隊ヲ擊滅

(ロ) 大村部隊第十二聯合航空隊指揮官所定(以下之ニ同ジ)・大村航

空零戰特攻

(ハ) 元山部隊・元山空零戰特攻

一〇八四二・一〇八五二・一〇八四五 呂一 A 々五(三九三七五 KC) 一

(一)

- (一) 宇佐部隊・宇佐航空隊艦攻艦爆隊
 (二) 伊予部隊姫路航空隊艦攻隊
 (三) 詫間部隊・詫間航空隊水偵隊
 (四) 福山部隊福山航空隊水偵隊
 (五) 天草部隊天草航空隊水偵隊
- 二、第十二聯合航空隊部隊指揮官ハ各部隊指揮官所定ニ依リ各機種毎ニ約二〇機ヲ一隊トシ特攻成ルベク多數ヲ編制シ現配備基地ニアリテ待機整備訓練セシムベシ
- 三、右特攻ノ第一作戰基地ヲ國分及指宿（水偵）トシ該各隊毎ニ特令シテ進出作戦セシム

作戰緊急

三二一 受信一六三〇 譯始一六四〇 譯了一九一〇 電〇九七八二 作概〇 航本



局長	副局長	一等長	二等長	三等長	四等長	五等長	六等長	七等長	八等長	九等長	十等長
局長	副局長	一等長	二等長	三等長	四等長	五等長	六等長	七等長	八等長	九等長	十等長

第七基地航空部隊各口、横 鎮、吳 鎮、佐 鎮、舞 鎮、阪 鎮、警

機密第二二二一〇三番電

第八基地航空部隊電令作第五號

一、第十一聯合航空隊部隊實用機航空隊司令、實用機作戰可動全力ヲ七FGB 指揮官ノ指揮ヲ受ケシムベシ

二、第十二聯合航空隊部隊指揮官ハ聯合航空隊實用機作戰可動全力ヲシテ

第一機動FGB 指揮官ノ作戰指揮ヲ受ケシムベシ

三、各關係部隊指揮官ハ右兵力ノ機種機數ヲ本職ニ報告スルト共ニ關係各

部ニ通報スベシ。

通一一二六、呂一Aケ五（B）霞空

三
 二二一 受信二二五八 譯了〇七四三 電〇九九三五
 二二二 譯始〇五二〇八
 航作
 本概〇



機密第二一一一五七番電

發 南西方面艦隊司令長官

大使一行約三〇名二十一日夜飛行便ニテ基地發途中順調ナラバ二十六日頃ニ基地着ノ豫定陸軍ハ二十九日夜ニ基地出發可能ナル如ク飛行機ヲ準備スル筈ナルモ一行ガ同地ニ到着セバ直ニ航空關係部隊宛通知スル豫定陸軍機(台灣南方軍派遣隊)ハ台中飛行場ヨリ出發スル筈。

(東通註 本電誤字極メテ多シ)

通一一二七三 呂四A(四七四二) 五KC(五FGB)

三二二

受信開始 〇〇五三〇〇

譯了 〇八〇〇

電自 一一〇四二二〇

航本・戦力

新



●

聯合艦隊口・横通

●

東京通信隊・九〇三空

●

總無線艦所用共通符號

機密第二二一六一八番電 三分ノ二、三

發 父特根司令官

宛 横鎮參謀長

通報 大海參一部長

一、全波敵情ヲ綜合考察スルニ潜水艦ニ依ル當地ノ搭乗員ノ輸送ハ本月

中ナレバ成功ノ算大ナリト認ム當地空襲狀況ハ一二〇〇前後小型飛

行機十數機一回一六〇〇頃大型機十數機一回二〇〇〇頃ヨリ〇二三

通一七九一 一八二二 一八二五 呂一Aケ五(B) 横須賀

○泡頃大型單機ニテ數回連日同様ニシテ未ダ特異ノ狀況認メズ

ニ大型機及中型編隊ノ晝間各一回宛ノ定期飛行攻撃ハ練成部隊ノ爆撃

訓練ナルヤノ疑ナキニアラズ中型編隊ニハ大型機一機ノ誘導機ヲ附

シ爆撃終了後再び誘導歸途ニ就ク場合多ク大型編隊ノ場合一機ハ常

ニ西方海面ニアリテ爆撃ヲ監視爆撃終了後單機ニテ侵入ノ上偵察歸

投ス爆撃目標中地域モ特ニ計畫的組織的ナル所ナク作戰準備爆撃ト

シテハ低調ナリ

三目下陸海軍協力シ全力ヲ擧ゲ現地資材ノ活用ヲ圖リ假^製兵器ノ^製作

ニ努力中ナルモ酸素及ガ^イパイト類既ニ殆^ト皆無トナリタルニ付潛

水艦便設定ノ際成ルベク搭載方配慮ヲ得度。



三二二

受信開始二二〇一
了二二二九
日一〇二三八

航作本稿〇

作戦緊急

福山空

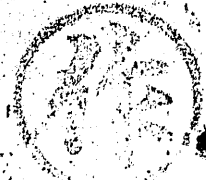
第八基地航空部隊

吳嶺第一機動基地航空部隊

機密第二二一八〇二番

八基地航空部隊司令部作第五號ニ依ル兵力九五式水上偵察機一二機
零式四機機八機

連一六八二 呂一Aヶ三() 横須賀



三二四

受信一八〇一九 譯了一九〇一 電一一二五八
航作 概〇

小崗山司令部

至

聯合艦隊口。南西方面艦隊口
大海參一部

機密第二四一三〇八番電

發 一A 參謀長

三月二十三日現在ノ實動機數(實動組數)左ノ通

零式艦戰七三(九〇) 紫電六(五) 月光八(一一) 彗星一八

(一八) 天山一〇(五) 銀河一(一四) 陸攻八(三) 陸

上輸送機三(三) 瑞雲七(一〇) 零式水偵三(三)。

通二六一一 呂四A少四(一〇二六五) KC(五) GBT 安川(雨谷)

三 一二五

受信二二三三五
開始二三二〇〇

譯了二三三五

電電一一六八九

航作 概本〇

至急親展

共

符

● 九五一空 (總航空基地)

● 海上護衛總隊

● 聯合艦隊司令部
● 第五航空艦隊司令部
● 鎮守府
● 鎮守府

機密第三五二〇番電 二分ノ一二

本電九五一空各基地ニ在リテハ人秘親展トス
九五一空電令作第九二號

一 當隊南西諸島所在航空兵力、佐鎮電令作第五號ニ依リ九州方面ニ轉進

セシメラル

成ルベク

二 關係各派遣隊長ハ左ノ要領ニ依リ遠ニ兵力ヲ轉進セシムベシ

三 一三三七六一三三八三 呂一人 (五三〇〇〇) 佐進

(イ) 轉進先區分

(一) 古仁屋兵力ハ古仁屋へ

(二) 小祿石垣兵力ハ濟州島へ (情況ニ應ジ新竹舟山島龍華經由)

(ロ) 轉進セシムベキ兵力

(一) 可動全機

(二) 飛行隊長以下ノ搭乗員成ルベク多數及整備員下士官以上ノ大部

トシ派遣隊長所定

(ハ) 指宿派遣隊長ハ古仁屋兵力ノ轉進ニ當リ適宜同隊練兵又ハ水偵ヲ

使用スルコトヲ得

(ニ) 小祿石垣島各派遣隊ノ兵力輸送ニ關シテハ別令ス。

11 sd

三二五
 親展
 受信一九二九
 譯始一九四〇
 譯了二〇一五
 電一一七七四
 監作
 政概〇

大本營海軍部・聯合艦隊司令部・第二艦隊司令部

機密第二五一六〇八番電

發 一一S D 司令官

當隊當面ノ作戰充當可能兵力酒匂柳橋ノ三隻ノミ（北上波風ハ輸送作
 戦ナラバ可能）其ノ他萬楡梨款椎ハ編入直後ニテ訓練未濟宵月ハ注油
 ボンプ故障修理中且訓練未済作戰行動ニ不安アリ柿ハ藤永田ニテ修理
 中。

通一三三一六
 呂二A（七四四二C）吳通



三 二五 受信二二二二一
譯始二二四〇
譯了〇一二〇 電一一七三七
航作 概本〇

作戰緊急親展

- 木更津空基地
- 藤枝航空基地

○ 航本總務部・九五一航空隊



機密第二五一七五六番電

宛 三 A F 參謀長

一、天空襲部隊ハ攻撃力弱少ニ付零夜隊五機ヲ追加好機ニ投マシ奇襲任務ヲ附加サレ度

二、天一「」機作以展開時ノ所要輸送機第一次(徳島)四機第二次三機三、先ニ夜〇ニ對スル二八機爆裝工事ヲ航本ニ要求セルモ現況急迫ノ

今日何等回答ナク夜隊隊以法ニ支障アリ第二空廠ニハ現在六機分ノ現品アリ明日木材工員空輸ノ上緊急工事方取計アリ度。

通一三三八七 呂一A(B) 木空基地

局長	三	三五
課長	六	六
A	信	始
B	專	專
E	下	下
J	本	本
H	二	二
D	一	一

大 長
長 長

機密第二五二二二六番電

宛 第六 航 軍

通報 防衛總司令部。支那派遣軍。威。第十方面軍

✓ 聯合艦隊司令部第五八〇號

一 K F G B 指樞官ハ五 A 全力ヲ以テ好機南西諸島方面來襲中ノ敵機
 助部隊ヲ遂滅スベシ

二 K F G B 指樞官ハ作戦指揮下第七基地航空部隊兵力ヲ本土西方第二
 線基地ニ配備シ敵機助部隊ノ九州方面再度來襲ニ備ヘシムベシ。

一三四二四 四二 A 々五 () G F 口 松田 (藤田)

電一一七三八 航作 本機 C

三二六 受信一三〇五〇〇 譯了二三五二 電一一九七二 作部〇

● 總無線艦所用共通符號

● 沖繩方面根

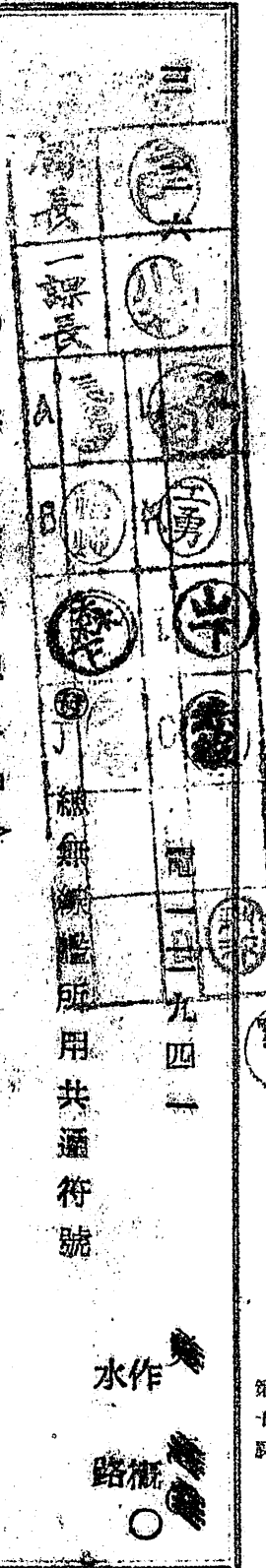
● 佐 鎮。第一、第五各航空艦隊

機密第二六〇八四七番電

發 G P 參謀長

敵ハ我ガ震洋隊ノ攻撃ヲ恐レ慶良間海峽等ニ揚陸船團泊地ヲ擇ブ算テ
「震洋隊其ノ他ノ特攻兵器ノ用法特ニ攻撃目標ニ選定ニハ戰況ニ應ジ
柔軟ナル構テアルヲ要ス時ニハ上陸用舟艇群ニ突入セシムル等ノ着意ヲ
ルヲ要ス 尙硫黃島其ノ他ノ戰訓ニ依ルモ敵ハ徹底的ニ我陣地據點ヲ
制壓シタル後眞兵器ヲ揚搭セシムルニ付此ノ點特ニ注意アリ度

通一三五九三 呂二△ケ五 (B) (G F P)



海上護衛線各口A

大海參一部・聯合艦隊、支那方面艦隊各口A

機密第二六一八五六番電 三分ノ一、三三

QEB電令作第四二四號

一、佐鎮護衛部隊指揮官ハ左ニ依リ爲シ得ル限り速ニ對島海峽ノ機雷

堰ヲ構成スベシ

(1) 作戰兵力一八Sヲ基幹トスル兵力

(2) 使用機雷九三式六〇〇個

(3) 敷設線(基準線)ノ概位及敷設諸元

海軍 三〇〇二・三〇〇三 呂二Aケ五

海軍

第十課

(一) 對馬西水道

(A) 北機雷堰 鴻島ノ三二九度二籽(基點)ヨリ同方向七、二籽

敷設距離六〇米各敷設線ノ深度三米一三米及二三米

(B) 南機雷堰 郷崎ノ二九九度五籽(基點)ト鴻島トノ連結線上

基點ヨリ四二籽敷設距離七〇米各敷設線ノ深度三米五米一五

米及三〇米

(二) 對馬東水道

若宮燈臺ノ三〇〇度四五籽(基點)ト内院島連結

線上基點ヨリ四〇籽其他ノ敷設諸元西水道南機雷堰ニ同シ

(三) 壹岐水道

(A) 北機雷堰 二神島ノ〇度二籽(基點)ヨリ三九度七八籽

(B) 南機雷堰 二神島ノ一八〇度二籽(基點)ヨリ同方向七二籽

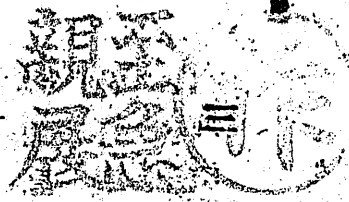
(A)(B) 共敷設諸元ハ對馬西水道北機雷堰ニ同シ

三、吳鎮及鎮警各護衛部隊指揮官ハ右機雷作戦ニ協力スベシ。

海

軍(一)

第十部 課



三〇九 受信始 〇五〇四三 譯了 〇六五五 電自 一四〇六六一 水作 路概 〇

佐 領

● 第二艦隊口・第三水雷戰隊下・第六艦隊下

● 大海參一部・海上護衛總口・聯合艦隊口

機密第二九〇七四九番電 五分ノ一、二、三、四、五

南西諸島防備機雷（全部九三式機雷深度二米）敷設狀況左ノ通

（基點列線方位列線長ノ順）

(1) 石垣島（合計二〇〇個）

(一) 白保崎（カナバ力崎）ノ二二五度一、五五紵二三〇度四七二〇米

(二) 同二〇〇度二、〇紵二三〇度三五四〇米

(三) 同一七〇度二、〇紵五〇度五九〇〇米

(四) カラ岳ノ九〇度六、三紵一四五度五九〇〇米

(口宮古島（合計二〇〇個）

通 一五六〇七、一五六五二、一五六八六呂一Aケ五、B、佐通

- (一) 來間島 (四七)ノ二六〇度一三六五軒一六〇度五九〇〇米
- (二) 同二〇五度七、五軒二四五度五九〇〇米
- (三) 同一七二度五、九軒九〇度三五四〇米
- (四) 同一三五度八、二軒五七度五九〇〇米
- (五) 沖繩島 (合計七〇〇個)
- (一) 名瀬灣崎本部 (三〇六)ノ二九一度八、二軒二八八度五八〇〇米
- (二) 殘波岬 (クエマシ)ノ六〇度五軒六〇度四九〇〇米
- (三) 同三四度一、〇軒七二度二九四〇米
- (四) 同三四五度四、七五軒一九七度五一二〇米
- (五) 同二〇二度一五、六軒三〇度五九四〇米
- (六) ナガンヌ島 (七、三)ノ二四〇度七、五軒六〇度四一〇〇米
- (七) 前島 (一三二)ノ一五〇度一〇、九軒二三〇度五八〇〇米
- (八) 喜屋武 (七四)ノ二四〇度六、七軒二九五度五九四〇米
- (九) 沖南角 (一六〇)度二、九軒七五度三九〇〇米

(十) 同八〇度一二六籽二六〇度三九〇〇米

一一一 津堅燈台ノ一九〇度一、一籽一九〇度二九〇〇米(一一二)

同二四〇度六、三籽二四〇度二九〇〇米

(二) 更ノテ南大東島北大東島敷設シアラズ

(三) 他ニ九四式機雷沖繩二九〇個石垣宮古大島各七〇個アルモ海面行動ニ

支障ナシ。

(三)

三三一 受信一八〇〇 譯了一九四五 電自一四九七六 作概〇

● 施屋空地

● 第一機動基地航空部隊作戰命令通信艦所
第七基地航空部隊作戰命令通信艦所。第八基地航空部隊

機密第三一一三 一四番電三分ノ二三

一 K F G B 天信電合作第一號

第一機動基地航空部隊ノ天一號作戰ニ於ケル作戰要領左ノ通定ム

一 作戰方針

先ヅ敵機動部隊ヲ擊滅シタル後敵船團ヲ覆滅シ其ノ進攻企圖ヲ挫折セシム

ニ本作戰ニ於ケル兵力使用區分ヲ概ネ左ノ通豫定ス

(1) 機動部隊攻撃三 A F 及五 A F 固有兵力

(2) 船團攻撃指揮下一〇 A F 兵力及三 A F 五 A F 兵力ノ一部

通一七一三〇・一七一三八・一七一四六 一 A (一七八七五) 一 K F G B

三、作戰要領

- (イ) 敵 E D B 九州方面ニ來襲ニ際シ當部隊第一戰法ヲ適用之ヲ鑿滅
- (ロ) 敵 K D B 沖繩方面ニ來襲作戰スル場合ハ第三戰法ヲ適用シ漸次
戰法ニ依リ鑿滅ス
- (ハ) 天山隊及瑞雲隊ヲ以テ沖繩周邊ノ敵艦船ニ對シ常時執拗ナル一
ゲリヲ一攻襲ヲ續行スルト共ニ周到ナル神雷攻撃ヲ敢行シ、
支援部隊ヲ擊滅ス
- (ニ) 敵輸送船隊入泊セバ第一戰法前段ノ要領ニ依リ敵機動部隊ヲ拘
捉シツツ一〇 A B 兵力ノ全力ヲ以テ泊地強襲ヲ敢行シ之ヲ覆滅
ス

一註

本電誤字多キ爲遲延ス